

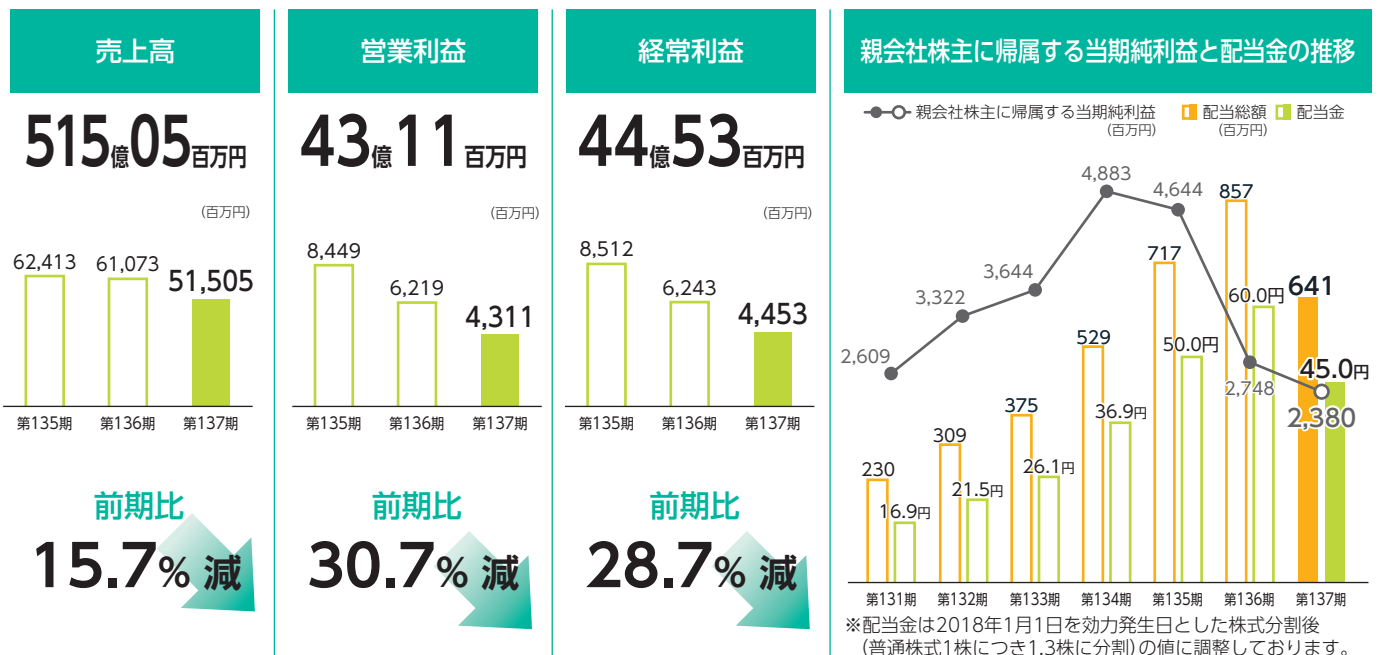
第137期 年次報告書

2020年1月1日 ▶ 2020年12月31日

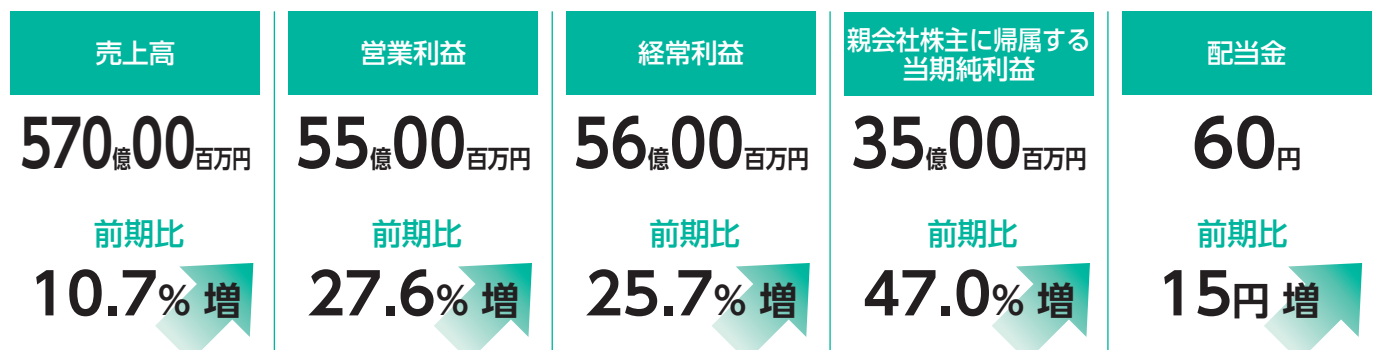
[証券コード：5184]

株式会社 **ニチリン**

2020年12月期の連結業績ポイント



2021年12月期の見通し



サステナブルな社会の実現に向け 新たな価値と多様性を兼ね備えた 企業集団を目指してまいります。

代表取締役 社長執行役員 **前田 龍一**

Q 第137期(2020年12月期)について 事業の概況をご報告願います。

A 当期における世界および我が国の経済状況は、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の感染拡大により減速し、景気後退に陥りました。自動車業界も、新車販売の鈍化に加え、生産調整や生産停止などが相次ぎました。このような厳しい経営環境の中、当社グループは、中期経営計画「NICHIRIN Growth Strategy 2020（以下、NGS 2020）」の最終年度として、「質の向上」に注力し、海外事業の再構築や新工法・新製品の開発等に努め、グループ経営基盤の強化を図りました。

セグメント別に事業の概況をご報告いたします。まず、日本は国内顧客の減産が続く中、特に第2四半期（4月～6月）に新型コロナの影響を大きく受けました。その後、徐々に復調の兆しが見られましたが、売上高・利益とも前期に比べ減収減益となりました。

北米は、日本同様、第2四半期に新型コロナの影響を大きく受けましたが、IHX（カーエアコン用内部熱交換器）の新規モデルの立ち上げや課題であった業務管理の改善、効率的なライン構築、ロボットラインの安定稼働が進み、当期は黒字へ転換することができました。

中国は、期初に新型コロナの影響を大きく受け、一時的に業務移管による生産性の悪化があったものの、4月以降は改善が進められており、前期並みの利益を確保することができました。また、第4四半期には電気自動車メーカーであるテスラ社向けの製品をTier2として受注し、現在量産に入っており、2021年度中にはさらに量が増える見込みとなっております。

アジアは、当社グループの中で最も新型コロナの影響を受け、特に第2四半期の落ち込みが大きく、売上高は前期に比べて大幅に減少し、それに伴い利益も減少いたしました。

欧州は、各国のロックダウンにより3月下旬から5月下旬にかけて顧客の生産停止などの影響を大きく受けました。また、英国のEU離脱に伴う顧客の撤退への対応として、ニチリンユー・ケー・リミテッドの生産を2020年8月に停止し、ニチリン スペイン エス・エルをはじめグループ各社へ生産を移管いたしました。

これらの結果、グループ全体の当期業績は、売上高・利益面とも前期を下回る結果となりました。しかしながら、中国・蘇州の工場本格稼働、欧州における事業再構築に加え、グループ各社では各種改善が進捗するなど、基盤固めと底上げが進んだものと考えております。なお、株主様への配当金に関しては、連

結配当性向30%程度を目指しておりますが、経営環境等を勘案し、期末の配当を1株当たり30円とさせていただきます。

Q 当期が最終年度の 中期経営計画「NGS 2020」について 総括をお願いいたします。

A 中期経営計画「NGS 2020」は2015年～2020年の6年間を期間とし、グループ経営基盤のさらなる強化と世界規模での競争に打ち勝つための体制づくりをめざして計画を推進いたしました。その結果、NGS 2020策定時の2020年連結経営指針（売上高：580億円以上、営業利益率：安定して8%以上を確保、親会社株主に帰属する当期純利益：安定して5%以上を確保、自己資本比率：50%以上）については、2019年度まではほぼ達成しており、着実にグループ経営基盤の強化が図れたものと考えております。

「6つの全体戦略」につきましても、それぞれ進捗いたしました。「①成長分野の強化・拡大」では、注力製品のひとつであるIHXが順調に売上を伸ばし、自動車用・住設用ともホース・配管の新規開発や改良が進みました。「②新たな事業の創造」は、一例として、軽量化・コストダウン・リサイクルを目的としたゴム製品や金属部品の樹脂化が実用レベルになりました。また、一昨年に立ち上げたグローバルイノベーション推進部では、樹脂・カーボン・金属の3Dプリンターを駆使し、開発スピードを高め、顧客ニーズに迅速に対応しております。「③収益構造の改革・利益体質の強化」では、製品の生産・供給体制、原材料の仕入等におけるグローバル最適化に取り組みました。また、環境に配慮した省エネ型の新工法の開発も進み、導入しております。「④グローバルな経営管理改革」は、海外子会社へのモノづくり支援として、改善方法の指導や同一品質（グローバルQMS：Quality Management System）の徹底に取り組み、米国やメキシコではすでに成果が出ております。また、グループ各社共通の基幹システム導入は、経理面がほぼ完了し、生産管理面は海外子会社で現在進行中です。「⑤グローバル人材の確保と育成」は、英語・日本語・中国語・スペイン語を駆使できる人材が集まった企業グループ体の構築をめざしてあります。主要部門においては外国人が占める割合はすでに15%を超えており、基幹システムの海外子会社への導入や生産拠点を移転した蘇州日輪自動車部品有限公司における経理面の管理支援など、第一線で活躍しています。「⑥信頼される企業活動、社会への貢献により、企業価値を高める」に関しましては、従

■ Target 25 (経営数値目標)

連結経営指針

- 連結売上高 635億円以上
- 営業利益率 10%以上
- 当期純利益率 5%以上

連結経営目標

(単位：百万円)

	2022年度(計画)	2025年度(計画)
売上高	60,000	63,500
営業利益	5,900	6,800
営業利益率	9.8%	10.7%

※換算レート：USD=105円、EUR=120円、CNY=15円

業員の健康を第一に考え、メンタルヘルスケアや健康保持増進プログラムを推進し、経済産業省による「健康経営優良法人」の認定を取得しました。また、事業に直結する取り組みとしては廃棄物の削減や省エネによる環境改善、国内事業所の耐震補強などを推進してまいりました。

Q 新中期経営計画「NICHIRIN New Sustainable Development Plan」の概要をご説明願います。

A 新中期経営計画は2021年度から2025年度までの5年間を期間とし、ビジョンとして「顧客創造とイノベーションにより、新たな価値と多様性を兼ね備えた持続可能な成長を実現する」を掲げています。

顧客・自社・競合他社の関係性において、顧客の要望に対する自社や競合先の対応力を分析し、優位性の発揮や差別化、また、顧客の要望を超える提案ができるよう、自らをイノベーションしなければなりません。また、災害をはじめ、米中貿易摩擦や英国のEU離脱、新型コロナウイルスの感染拡大等、不測の事態に対し、“Resilience（復元力）”を強化する必要があります。さらには、環境保全にも注力し、CO2排出量の削減に努め、ECO活動を拡大発展させる取り組みも重要です。

以上の点を踏まえ、新中期経営計画の目標達成へ向けた「3つの全体戦略」をご説明いたします。

戦略I: 成長分野の強化・拡大と新たな事業の創造による グローバルでの利益体質の強化

マーケティング活動を現地の外国人担当者が行い、顧客のニーズを確実に把握できる仕組みに変えます。また、海外子会社から本社への見積依頼に対し、原価企画部門は経済原則に基づきグローバルな視野で動けるよう体質改善を図ります。さらに、情報の流れをグローバルワンシステムで管理強化し、グループ各社の機能を活用した取り組みができる体制を整えてまいります。

戦略II: グローバル人材の確保と育成

電気自動車への移行スピードが加速してきた今日の状況からすると、当社グループにとっても大きなビジネスチャンスであると考えます。そのためにはグローバル人材の確保・育成は急務の課題となっております。グローバル人事制度の採用により、グローバル人材を確保し、グループの強みや特性を活かして活躍できる環境整備に注力してまいります。また、海外トレーニー制度を積極的に推進いたします。

戦略III: Resilience（復元力）の強化と新しい社会への貢献

国内外を問わず、災害等不測の事態において判断力や対応力が養えるような仕組みを整えてまいります。また、人・環境・社会に優しい企業をめざしてCSR、SDGsの取り組みを強化してまいります。

Q 第138期(2021年12月期)の見通しを お聞かせください。

A コロナ禍に加え、世界的な半導体の不足による自動車メーカーの減産が大きな懸念材料となり、少なくとも上期は見通しが立ちにくいというのが実情です。

新たな事業展開としては、中国や欧米で増加している電動二輪（スポーツバイクを含む）需要に対し、専用の新しいホースを開発し、販売できる目途が立ちました。また、欧州・ブルガリアでの生産拠点の早期立ち上げをはかり安定した利益が確実に出せるよう取り組みます。さらに、二輪車の需要増が期待できるバングラデシュやパキスタンなどへのアプローチを計画しています。

業績の見通しにつきましては、売上高570億円、営業利益55億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円としております。

Q 最後に株主様へのメッセージを お願いいたします。

A 現在、自動車業界では、CASE（Connected：コネクテッド、Autonomous：自動運転、Shared：シェアリング、Electric：電動化）と言われる大きな技術革新が進行しています。当社グループでは地球環境への配慮と次世代電気自動車へのシフトを視野に入れ、自動車分野においては製品の軽量化によるCO2の削減に取り組み、その一方で住設分野などの製品群の拡大を図ることによって、新たな価値と多様性を兼ね備えた企業集団をめざしてまいります。規模より質を重視した経営に重点をおき、高い技術力とグローバルな視野による事業展開で企業価値の向上を図り、株主様の期待に応えたいと考えております。

株主様におかれましては、これまで以上にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

NICHIRIN New Sustainable Development Plan - with New Values and Diversity -

〈新たな価値と多様性を兼ね備えた 持続可能な成長計画〉

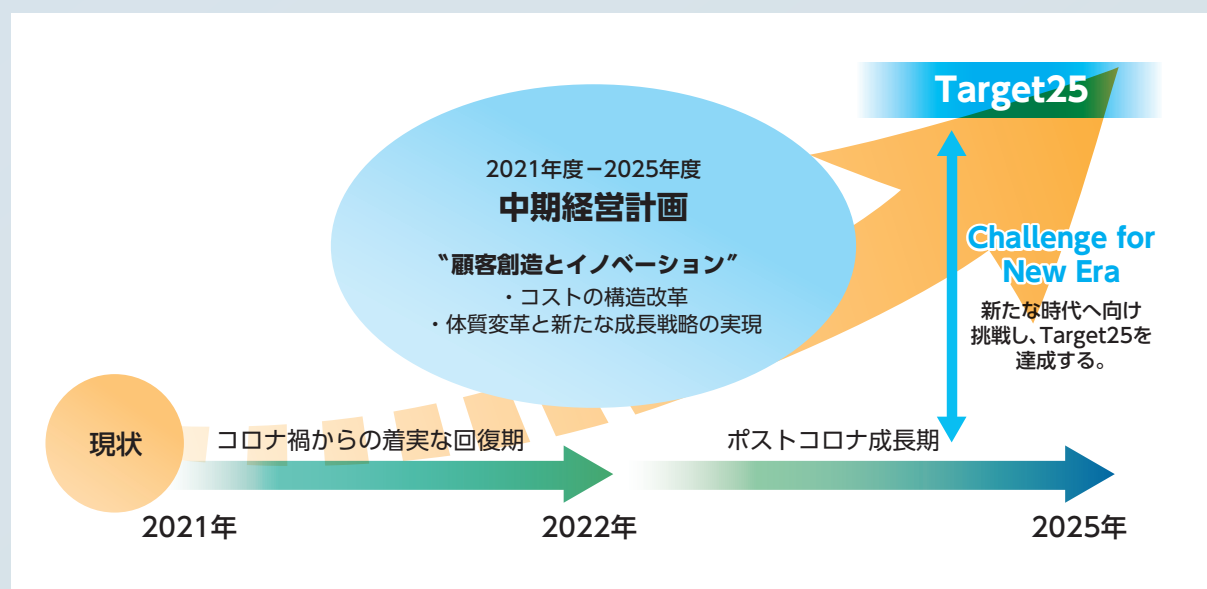
■ 経営理念

心が触れ合うモノ作り 信頼と喜びの行動で 21世紀に貢献する

■ ビジョン

顧客創造とイノベーションにより、新たな価値と多様性を兼ね備えた持続可能な成長を実現する

■ 成長のロードマップ

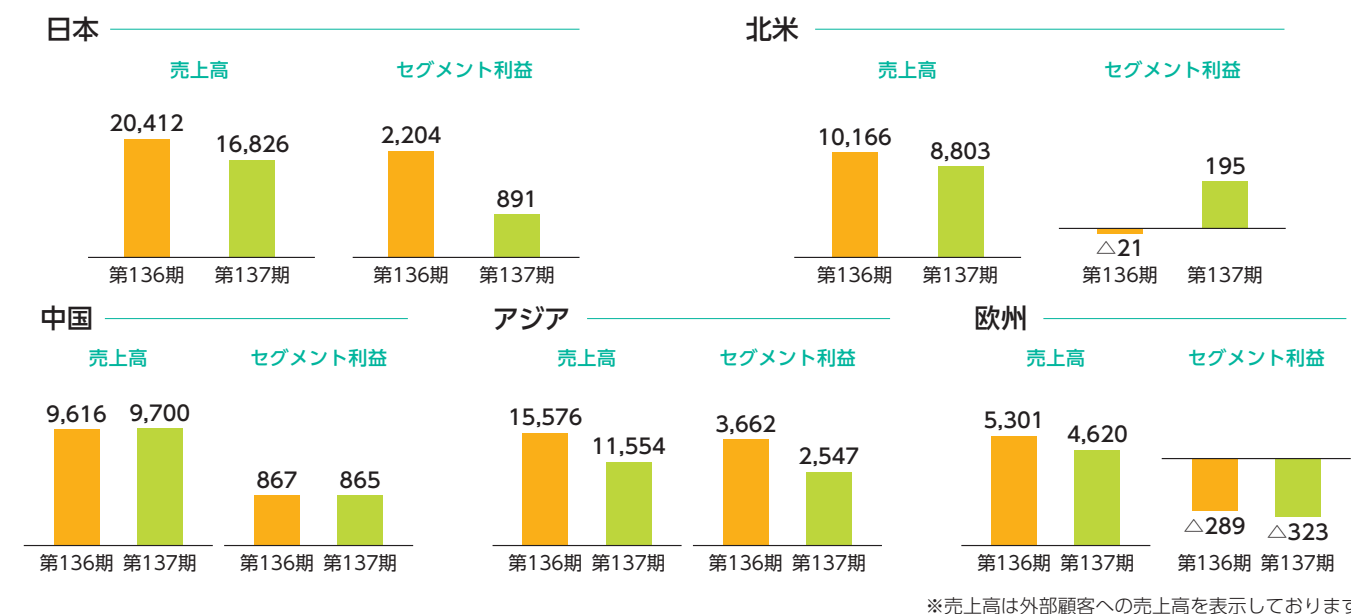


■ 3つの全体戦略

- 戦略Ⅰ** 成長分野の強化・拡大と新たな事業の創造によるグローバルでの利益体質の強化
NICHIRINコア技術を活かして、既存の需要を確実に取り込むとともに、新たな需要を創出する
- 戦略Ⅱ** グローバル人材の確保と育成
NICHIRINグローバル戦略推進に貢献できる人材を積極的に採用するとともに、新たなグローバル事業戦略を構築できる人材を育成する
- 戦略Ⅲ** Resilience (復元力) の強化と新しい社会への貢献
不測の事態における復元力を強化するとともに、人・環境・社会に優しい企業へ

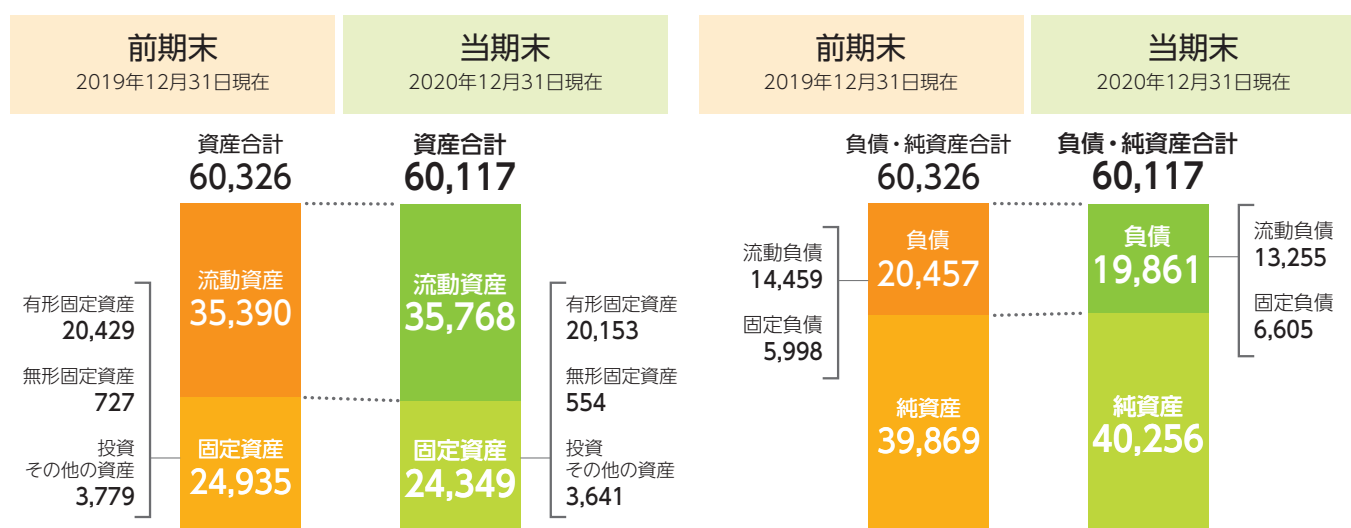
セグメント情報

(単位: 百万円)



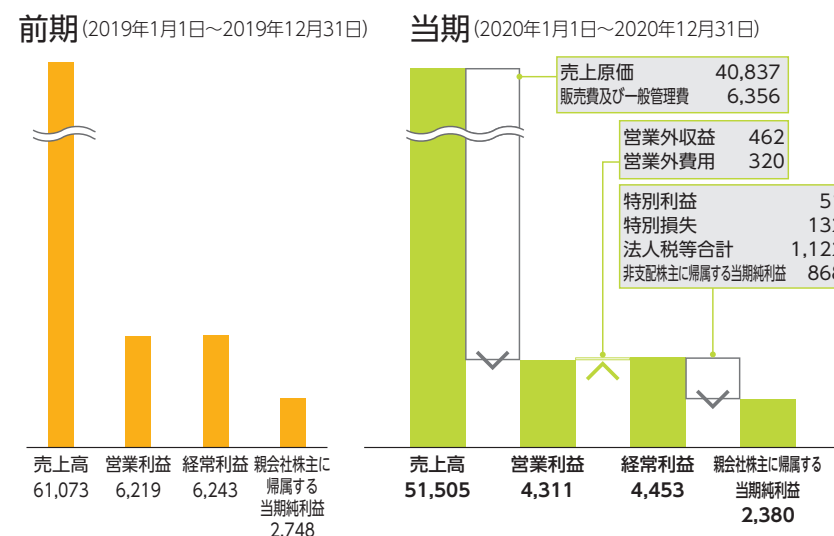
連結貸借対照表の概要

(単位: 百万円)



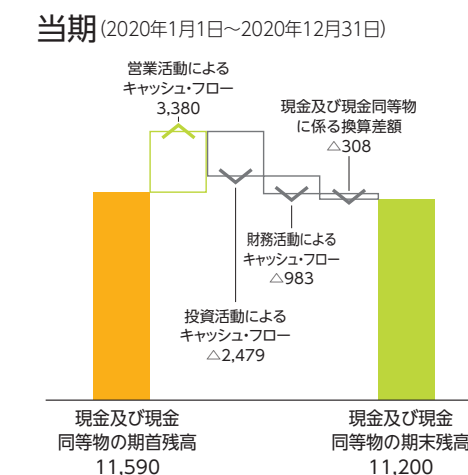
連結損益計算書の概要

(単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位: 百万円)



株式の状況

(2020年12月31日現在)

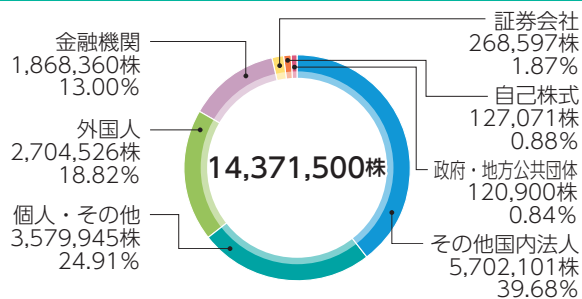
発行可能株式総数 45,760,000株
 発行済株式総数 14,371,500株
 (自己株式127,071株を含む)
 株主数 9,652名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
太陽鋳工株式会社	3,217	22.6
双日株式会社	1,144	8.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	722	5.1
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	550	3.9
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	487	3.4
東京センチュリー株式会社	475	3.3
株式会社みずほ銀行	373	2.6
日本精化株式会社	286	2.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	220	1.5
みずほ証券株式会社	195	1.4

(注)持株比率は、発行済株式総数(自己株式除く)に対する持株数の割合であります。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月に開催
 基準日 毎年12月31日
 その他必要あるときはあらかじめ公告して定めます。
 株主名簿管理人および特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 証券代行事務センター
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次窓口 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
 公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載します。)
<https://www.nichirin.co.jp/ir/denshikoukoku.html>
 ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 単元株式数 100株
 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第2部
 証券コード 5184
 当社ホームページアドレス <https://www.nichirin.co.jp/>

- ・住所変更、単元未満株式(1株から99株まで)の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



会社の概況

(2020年12月31日現在)

創立 1914年(大正3年)5月
 設立 1924年(大正13年)3月
 資本金 21億5,800万円
 本社 〒650-0033
 兵庫県神戸市中央区江戸町98番地1
 東町・江戸町ビル3階
 電話(078)392-1471(代) FAX(078)392-1758

事業所 姫路工場
 兵庫県姫路市別所町佐土1118番地
 電話(079)252-4151(代) FAX(079)251-2160

東京支社
 東京都港区芝浦1丁目3番11号
 ニュー芝浦ビル4階
 電話(03)5476-8050(代) FAX(03)5476-0338

浜松営業所
 静岡県浜松市中区板屋町110番地の5
 浜松第一生命日通ビル11階
 電話(053)454-3721(代) FAX(053)452-5524

厚木配送センター
 神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台4055番地
 電話(046)285-2311(代) FAX(046)285-2129

主要な事業内容
 自動車用ブレーキホース、パワーステアリングホース、カーエアコンホースなど自動車用各種ホースの製造・販売および住宅関連のホース類等の製造・販売を行っております。

従業員 375名(出向者36名除く)

役員

(2020年12月31日現在)

取締役および監査役

取締役会長	清前	水田	良龍	雄一
代表取締役社長執行役員	谷口	元	利秀	一員
取締役専務執行役員	菊元	我野	秀浩	樹之
取締役上席執行役員	曾	矢野	浩	進
取締役上席執行役員	矢野	木塚	一俊	史
社外取締役	鈴木	塚川	良美	雄一
社外取締役	手森	川村	清	樹和
常勤監査役	森木	田		
社外監査役	上			

執行役員

上席執行役員	前田	民高	世男
上席執行役員	前田	高元	博成
上席執行役員	高難	波宏	成司
上席執行役員	竹島	淳文	博章
執行役員	岩見	吉和	生樹
執行役員	高山	安秀	
執行役員	中		

ホームページ紹介

<https://www.nichirin.co.jp/>

当社ホームページでは、IR情報、製品情報や最新トピックスなどの情報を掲載しております。

